

おりがみ会館の紹介

1858年(安政5年)創業。

明治に入り、文部省学用品課からの要請で、世界で初めての折り紙の製造販売を開始。

1948年「合名会社 小林染紙店」設立。

1972年、伝統工芸としての折り紙を広く伝えていくための施設、『お茶の水 おりがみ会館』を開設。

折り紙・千代紙の製造販売、各種講習を開催し、百貨店などでの実演や展示といった会館外でのイベントも積極的に行っている。1986年文京区の文化遺産に指定される。

〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-14

営業時間: 9:30~18:00(ギャラリー: 10:00~17:30)

定休日: 日曜・祝日・夏期休暇・年末年始

TEL: 03-3811-4025 (代) FAX: 03-3815-3348/03-3815-6817(商品部)

ホームページ <https://www.origamikaikan.co.jp>



- | | |
|------------|------------------|
| ↓ 湯島駅 | 湯島駅北口・千代田から徒歩 8分 |
| ○ 湯島駅 東口 | 北入口から徒歩 5分 |
| ○ 千代田駅 湯島口 | 北入口から徒歩 11分 |
| ○ 湯島駅 東口 | 北入口から徒歩 9分 |

セット商品の紹介



色紙たとう入り「女雛男雛」

6,700円(税別)



折りやすい15センチ角和紙

(本書とじ込みの折り紙と同じもの)

48枚入(段飾り紙つき)／800円(税別)



檀紙白／赤枳 各2枚入り

(女雛男雛用、サイズ:枳版)

2組4枚／600円(税別)



10人揃え雛入り小箱

(箱のサイズ:約w14.5×d20.5×h4cm)

千代箱入り／25,000円(税別)

千代箱のみ1,200円(税別)

監修者について

小林一夫 (Kobayashi Kazuo)

1941年、東京都文京区湯島に生まれる。東京・御茶ノ水にある「おりがみ会館」館長。安政5年(1858年)創業の和紙の老舗「ゆしまの小林」4代目、会長。内閣府認証 NPO法人国際おりがみ協会理事長、文部省・高等学校教員資格を有す。折り紙の展示や、教室の開催、講演などを通じ、和紙、文化の普及と継承に力を注ぐ。その活動は日本のみならず世界各国に及び、日本文化の紹介、国際交流にもつとめている。

近著に『折り紙は泣いている』(愛育社)、『千代紙』(KADOKAWA)、『おりがみBOOK』(二見書房)、『福を呼ぶおりがみ』(朝日新聞出版)の他『飾って華やか季節のブロック折り紙』(PHP研究所)、『英訳付き折り紙帖』(池田書店)の監修など海外版も含め出版は200冊以上にのぼる。テレビ出演、講演活動多数。

折図作成 湯浅 信江(ゆあさ のぶえ)
作品制作 渡部 浩美(わたべ ひろみ)
ブックデザイン 山下三千夫(やました みちお)

伝承^{でんしょう} 折りひな^お かやら草^{くさ}うつし

2018年 3月10日 初版第一刷印刷

2018年 3月20日 初版第一刷発行

監修者 小林一夫
発行者 森下紀夫
発行所 論創社

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル
tel. 03-3264-5254 fax. 03-3264-5232
振替口座 00160-1-155266

印刷・製本 中央精版印刷
ISBN978-4-8460-1699-9 ©2018 Printed in Japan
落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

本書には、歌詞(歌い出し)からの引用がなされていますが、本書は著作権法第32条(引用)に該当する著作物で、引用は「公正な慣行」に合致し、「目的上正当な範囲内」で行なわれています。